

杉沢比山

番楽

番楽は舞台鎮めとして舞われる演目です。
この演目には語りがなく、翁が出てくる前のはやしは次のようになっています。

おはやし

「ばんがく太郎や岩屋にこもって
番楽ふむこそめでたさよ」



動きの特ちょう

足を交差させ横に動く動きがあるが、
お酒によつての「千鳥足」を表現している
ものと思われる。

